

電気通信大学理事（教育・国際戦略担当） 阿部 浩二

平素より電気通信大学の教育研究に対して格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

本学では電気通信大学基金にいただいたご寄附を財源として教育研究等への様々な支援を実施しております。中でも、学生への独自奨学金と学生等海外派遣助成事業は、電気通信大学基金からの支援が大きな柱となっております。今回、これまで紹介させていただく機会があまりなかった学生等海外派遣助成事業についてご紹介させていただきます。

学生等海外派遣助成事業は、①国際会議で研究発表を行う学生・ポスドク（博士研究員）への助成、②国際交流協定校等へ海外留学する学生への助成、③国際インターシップで海外派遣される学生への助成、という3つの区分で支援を行っています。

ところが、一昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大以降、海外渡航が制限されたことにより、本学の学生、教職員の海外出張も原則禁止となり、令和2年度及び令和3年度前学期はいずれも実施を中止せざるを得ませんでした。しかしながら最近になり、我が国を含め世界的にコロナワクチン接種が我が国を含め世界的に進み、海外渡航の制限も緩和されてきた状況に鑑み、令和3年度後学期から本事業を徐々に再開することといたしました。再開にあたり、上記①に関し、国内学会の英語による研究発表の場合も助成の対象に含めることとした他、上記②③についても、助成額の見直しを行い、学生にとって支援内容が分かりやすく、応募しやすい制度に改正する予定です。

申すまでもなく、若く多感な学生時代に海外経験を積むことは、単に外国語を習熟する機会を得ること以上に、様々な国の学生とのコミュニケーションを通じて、異なる文化や価値観に触れることで、グローバルな視点や主体的な行動力を身につけることができます。本学では、様々な機会を通じ、学生の海外経験を奨励しておりますが、海外留学のためには、多くの渡航費や滞在費が必要となります。海外留学を希望するすべての学生が保護者から十分な援助を受けられる環境にあるわけではありません。本学ではこれからも、電気通信大学基金や同窓会である目黒会から支援を受けた海外派遣助成制度により、意欲ある学生が経済的な理由で海外留学を断念することのないよう支援を行ってまいりたく、引き続き本学と本学学生の活動に変わらぬご関心をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きを見せておりますが、本格的な寒さに向かう時節、くれぐれもご自愛ください。



電気通信大学 総務企画課 基金・卒業生係
東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
TEL: 042-443-5132
(平日9時から17時まで)
メールアドレス: kikin@office.uec.ac.jp



インターネット利用による
ご寄附のお申込みはこちらです

継続的なご協力を
お願いいたします。

